

夏から秋の博物館活動

特別展「新城の天然記念物-守りたい自然遺産-」
(令和3年7月19日~8月31日)

新城市には国の名勝・天然記念物が6件、県が6件、市が27件。天然記念物級と、この地方だけに生息する希少な生物もいます。県内有数の自然の宝庫です。展示では、28例を紹介しました。今回、生きたネコギギを国土交通省設楽ダム管理事務所から借りて、元気に泳ぎまわる姿を見学してもらいました。

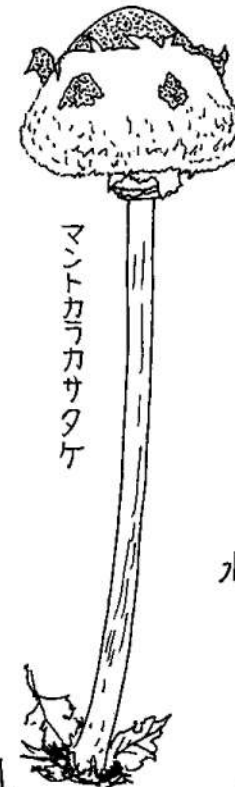


特別展「きのこ展」
(令和3年9月19日~10月17日)

今年で31回目になります。展示期間中の雨が少なかったせいか、野生きのこの生品数が少し淋しく感じました。

新型コロナウイルス感染再拡大
(令和3年8月27日~9月12日)

新型コロナウイルス感染の第5波が全国的に拡大し、愛知県も緊急事態宣言を発しました。新城市内でも感染者が複数出る状況でした。

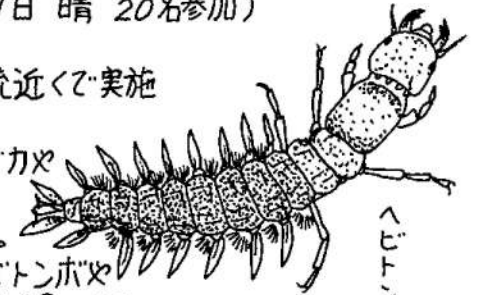


マントカラカサタケ

博物館ザッ記 No.27 2021-XI

野外学習会「海老の川の生きもの」
(令和3年8月1日 晴 20名参加)

海老川の源流近くで実施しました。魚類では、カジカやアサギ、ネコギギも観察できました。水生昆虫では、ヘビトンボやトビケラのなかまが多く見つかかり、水質階級Iの「きれいな水」と判定されました。



ヘビトンボ

野外学習会「作手高原のきのこ」
(令和3年10月10日 晴 20名参加)

作手の鬼久保広場で開催しました。カメムシタケ、ハナサナギタケの冬虫夏草菌やツチナメコなど33種のきのこを観察できました。

カメムシタケ

「三河と遠州の境 雨生山の植物」
(令和3年10月24日 晴 18名参加)

植物の野外学習を異剥石、蛇紋岩地帯として知られる雨生山(うぶさん)で開催しました。どの植物もいじけたように小さく、大樹は一本もありません。ここに特有のムラサキセンブリがちょうど見頃で、地上に咲いた星のようでした。



ムラサキセンブリ



季節のたより

- 7月17日 東海地方梅雨明け
- 10月26日 ジョウビタキ初見(只持)
- 11月13日 初霜、29日 初氷(門谷)

特別展「新城の豊かな川」(令和3年11月1日~令和4年3月31日)

新城市は寒狭川、宇連川が合流して豊川の本流となり、豊川の中・上流域を形成しています。川は地形をつくり、水は生命を支えています。市の中心を流れる豊川



とその支流の自然、人のくらし、歴史、災害などについて紹介しています。

博物館ガイドツアー、講座、出前授業

- 7月22-23日 于郷フーレ10-7 (29+59名)
- 25日 講演「巨木伐栽師」青山百之氏インタビュー (20名)
- 28-29日 恵の実っ子ガイドツアー (7+8名)
- 8月2日 恵の実っ子ガイドツアー (15名)
- 8日 ガイドツアー(一般) (4名)
- 15日 ボーイスカウト半田3団カブスカウト隊 (10名)
- 24日 北設理科教員研修(8名)、庭野小5・6年生ガイドツアー (21名)
- 9月20日 豊川市ぎょうぎランド「きのこ観察会」 (12名)
- 10月1日 豊川市豊小5年生見学案内 (74名)
- 14日 東郷西小6年生ガイドツアー (24名)
- 18日 鳳来寺小出前教室 (4名)
- 27日 東海自然学園ガイドツアー (36名)
- 29日 東郷東小3年生ガイドツアー (29名)
- 11月10日 西尾市中畑小5年生見学案内 (51名)
- 11日 東郷西小6年生出前授業 (49名)
- 15日 鳳来寺小3年生出前授業 (10名)
- 18日 鳳来寺小3年生ガイドツアー (11名)
- 27日 半田市自主防災会見学案内 (17名)
- 29日 新城市老人クラブ連合会現地案内 (18名)

野外学習会「長篠周辺の地形・地質」(令和3年11月13日 晴 20名参加)



戦国時代の史跡がある長篠周辺を歩いて観察しました。集合場所の長篠城を出発し、段丘崖の縁に沿って移動しながら宇連川を渡って鷲が巣山へ登りました。城跡や段丘地形が見わたせる最適な場所です。下山すると宇連川と寒狭川(豊川)の合流点の牛瀬まで行き、長篠城の急崖を確かめました。最後に中央構造線長篠露頭を見学しました。

鷲が巣山